常陸きこりの会

未来の子どもたちへ健全な茨城の森を

常陸きこりの会は、茨城県北地域（日立市・高萩（たかはぎ）市）を中心に平成23年から活動している団体です。「未来の子どもたちへ残す健全な茨城の森林づくり」を目標に掲げ、自治体等が保有する森林や公園の整備活動を行っています。

ひたち林業探検少年団植樹会（折笠フィールド、平成25年3月17日）
ひたち林業探検少年団員の小・中学生13人が10本のクヌギを記念植樹。

常陸きこりの会は、地元の森林ボランティア団体（森のボランティア茨城）の主催で平成22年4月から一年間行われた「第9期　森林ボランティア育成講座」の参加者が中心となって発足しました。現在会員は18人（男性14人、女性4人）で、定年退職前後の年齢層で構成されています。

会の活動のコンセプトは「未来の子どもたちへ健全な茨城の森を残そう。地球温暖化対策に微力ながら寄与しよう」で、森林での作業を楽しみながら行っています。

4つの活動フィールド

会では、次の4つのフィールドでの活動のほか、他の森林ボランティア団体との協働作業や後輩となる「森林ボランティア育成講座」受講生の指導等の活動を行っています。

①折笠フィールド（南切関公園用地）

会が日立市の公園里親制度に登録して整備を進めている土地で、マツやヤマザクラ、ヤシャブシなどからなる林です。地面を覆っていたササ等の刈り取り、枯れたマツの伐採、ピラカンサ（※）、ヤシャブシ等の除伐等、森林ボランティア育成講座の研修時代から、およそ2年半の活動によって林床整備が終わり、昨年は日立市の小中学生からなる「ひたち林業探検少年団」の植樹会用地として、クヌギ10本の植栽を行いました。

②岩本前遺跡公園

会の活動前は全く未整備だった公園です。地元の老人会から寄せられた「植栽したソメイヨシノやヤマザクラを楽しめるようにしてほしい」という要望を日立市と調整し、整備活動を開始しました。これまでに約半分の整備を終えています。

公園内ではカブトムシ養殖の試みも行っていて、昨年は間伐材を利用したログハウス風のカブトムシ養殖用「腐葉土サークル」を設置しました。また、除伐した枯れマツを使用したベンチの製作も行っています。

③日立戸沢国有林（日立市分収林）

スギ、ヒノキの人工林で植栽後45年を経過

カローザ田代・ヤマザクラの森整備活動（平成25年12月22日）

岩本前遺跡公園の公園整備活動（平成25年12月7日）

常陸きこりの会

●**会員数**
約18人（平成26年1月現在）
●**活動フィールド**
日立市折笠町「折笠フィールド」（0.6ha）
日立市砂沢「岩本前遺跡公園」（0.8ha）
日立市諏訪町「日立戸沢国有林（日立市分収林）」（2.1ha）
日立市十王町「カローザ田代（菊池牧場跡地）」（8.5ha）ほか
●**活動日**
第１土曜日・第3日曜日
●**ブログ**
http://kuri222.cocolog-nifty.com/kikori/

ナメコ・ヒラタケの短木栽培
（カローザ田代・平成25年３月10日）

不動山国有林の整備（水戸市・平成25年6月9日）
水戸市の県央森守クラブと協働で整備活動を実施。

折笠フィールドの公園整備（平成25年12月７日）
台風26号でなぎ倒されたマツ・ヤシャブシなどの片付けを実施。

KYM：危険予知ミーティング（折笠フィールド・平成25年5月19日）
下草刈り作業の前に、全員集合して木陰で危険予知ミーティング。

カブトムシ養殖用腐葉土サークルの製作
（岩本前遺跡公園・平成25年６月１日）
前年のイノシシによる被害を参考にして、鉄筋・鉄棒・間伐材支柱を利用した本格的で頑丈なログハウス風のサークルを製作。

し、これまで全く間伐されてこなかった林地です。茨城森林管理署の指導を受け、チェーンソーを使った間伐作業を進めています。

④カローザ田代（菊池牧場跡地）
8.5haの山林におよそ1，000本ものサクラがあり、山主さんの希望で一般公開を目標に整備を進めている民有林です。昨年までの活動で、林道・遊歩道の整備を完了しました。
また、街路樹伐採で確保した桜の木を使ったナメコ・ヒラタケの短木栽培にも挑戦しています。

安全な活動のための「危険予知ミーティング」

森林作業には、事故につながる様々な危険が潜んでいます。その危険要因を、事故が起きる前に見つけ出して対策をとるため、常陸きこりの会が行っているのが、危険予知ミーティング（KYM）です。その時々の作業に合わせて、刈払機・チェーンソーの取り扱い、足場の確保、害虫や熱中症への対処等の実践的なものから、実際に起きた事故の事例研究等までの幅広い内容で行われています。また、作業開始時には指差し呼称確認を励行して、事故防止に努めています。
会では、危険予知ミーティングとともに、次の５つの項目を忘れず実践し、みんなの力で安全な活動を続けていきたいと考えています。
①ヒヤリハット事例は積極的にみんなに知らせ、みんなで危険要因を無くしていこう。
②気がかり事項は、みんなに伝え、みんなで解決していこう。
③みんなで、気軽に「助け合える」「支え合える」雰囲気を作っていこう。
④「常陸きこりの会」のコミュニケーションを良くするため、みんなで積極的に「挨拶」「声かけ」をしていこう。
⑤困った時には、相談して、みんなで乗り越えていこう。

新たなフィールドと活動に向けて

今年は新たに日立市宮田町（みやたちょう）にある本山（もとやま）・御大典（ごたいてん）の桜公園、高萩市にある竜子山城（たつごやまじょう）・松岡城址公園の２つのフィールドでの活動が始まります。
桜公園周辺には、昭和３年に昭和天皇のご即位の記念の一環としてソメイヨシノ７００本が植えられましたが、80年以上を経過した現在は枯死した木も多くなっていることから、会では整備や植林を行い、きれいな桜公園を目指すことにしています。また、竜子山城・松岡城址公園では、高萩市市制60周年記念行事に参画しながら、森林ボランティア作業を行う予定です。
４月からは折笠フィールドで日立市の行う「桜守養成講座」（半年間７回コース）が開講され、メンバー全員が受講予定で、今後は桜守としての活動も行っていく予定です。岩本前遺跡公園のサソメイヨシノやヤマザクラの整備、一般公開を目指したカローザ田代のヤマザクラ整備など、今年は「日本さくら名所１００選」にも選ばれているサクラの名所・日立市にふさわしく、サクラに関連した活動を行っていきたいと会では考えています。

※ バラ科の外来の植物